

2016年11月18日

東急ファシリティサービス株式会社

渋谷ヒカリエにおいて災害食の体験型訓練を継続実施 ～ 実効性を継続的に検証 ～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、甚大な被害が予想されている首都直下地震に備え、備蓄された災害食の実効性を検証し、洗い出された課題を継続して改善することを目的として、渋谷ヒカリエにおいて「被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧のために必要な災害食のあり方」についての訓練を実施しました。これは、2016年9月28日に続いて2回目となる訓練で、今回は22名が参加しました。

当日は、当社の渋谷ヒカリエに勤務する従業員を対象に、実際に備蓄された災害食を試食して、ライフラインが途絶し、数日間にわたって災害食を食べ続け、早期復旧に向けた対応を行う場合に、調理方法や品質、量など、さまざまな側面から「備蓄食料」の実効性を検証するとともに、防災意識の啓発を行いました。また、たまプラーザ テラスに勤務する当社従業員も参加し、全社的な活動に展開しています。

なお、次回は、1日に3食の災害食と水分のみを取って勤務することで、より実践に近い形での訓練を実施し、実効性のさらなる検証を進めてまいります。



災害食に関する訓練を継続的に実施し、ライフラインが途絶した場合においても、公助に依存せず、自ら必要な食料を備蓄することにより、お客様の事業継続および早期復旧はもちろんのこと、良き企業市民として地域社会の減災にも貢献できるよう防災基盤の整備を推進してまいります。

【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138